情報処理演習 (8)配列その2 文字列

知能システム学 准教授 万 偉偉(ワン ウェイウェイ)

課題提出の締め切りについて

- ・ 毎回授業の始まりまで 厳守
 - -1:30pm
 - -システムが自動的に計測しますので、1分過ぎて も遅延として取り扱われます. 注意してください.

課題の問題

- マクロの定義
 - 大文字にすること
 - 関数内ではなく、#includeの前にすること
- ・ 関数の宣言
 - -#defineの後、main関数の前、必ず関数を宣言 すること
- ・ 多数の条件
 - 二つ以上の条件がある場合&&や||で接続する

9 111 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 33 33 34 44 44 45 46 47 ASCIIコード表 (文字コード表)

文字を表す型

- 文字(漢字, ひらがな除く)は合計数十個
 - アルファベット(大文字・小文字), 数字, 記号
 - -8bit (256通り) で表すことが出来る
- 文字を表す型: char (character の略)
- 整数を表す型の一種(int などの仲間)
 - 通常, char 型は 8bit
 - 通常, int は 32bit (16bit の機械・マイコン系も)
- 文字コードを得る方法
 - 'a' のようにシングルクォートで挟む char ch = 'a';

文字列とは

- 文字が並んだもの
 - "ABC" → 'A', 'B', 'C' の3つの文字が順に並ぶ
 - C言語では「文字の配列」として表現される
- 文字とは
 - それぞれの文字に番号が振られている
 - 例えば 'A' は 65(0x41), 'B' は 66
 - '0' は 0 ではない (文字 '0' は 0x30 = 48 で表される)

確かめてみる

#include <stdio.h>

int main(void) { int a;

• 整数の変数 a に⁽⁾A' を 代入している

• 結果はA is 65 (%xなら16進数)

a = 'A':

}

printf("A is %d¥n", a); ・ ということは return 0;

a = A'とするのは a = 65:

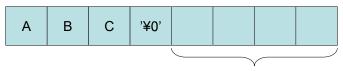
とするのと同じ.

文字列

- 文字の配列として表現する
 - char str[10]; str[0] が1文字目, str[1] が2文字目, · · ·
 - 文字列は "ABC" のようにダブルクォートで表現
- 最後に終端記号(ターミネータ, '¥0')を置く
 - char str[3] = "AB"; の場合 str[0] の中身は 'A' str[1] は 'B' str[2] は '¥0'
 - '¥0' = 0 であって、'0' ではない('0' は 48)

終端記号(ターミネータ)

char str[8] = "ABC";



無視する

- ターミネータが来るまでが文字列とする - ターミネータ以降は無視する
- 利点
 - 文字列の長さを別の変数に管理する必要がない

文字列の表示

- printf では %s で表示することが出来る char str[] = "ABC"; printf ("string is %s¥n", str);
- ひと文字は %c で表示することが出来る printf ("character of 48 is %c¥n", 48); printf ("character of str[0] is %c¥n", str[0]);

プログラム例

```
#include <stdio.h>
#include <stdio.h>
int main( void )
                                   int main( void )
char moji[] = "Moji1";
                                   char moji[6];
printf( "String = %s\u00e4n",
                                   moji[0] = 'M';
                                   moji[1] = 'o';
moji );
return 0;
                                   moji[2] = 'j';
                                   moji[3] = 'i';
                                   moji[4] = '1';
                                   moji[5] = '¥0';
                                   printf( "String = %s\u00e4n", moji );
                                   return 0:
```

左のプログラムと右のプログラムは等価

getchar()

- getchar()が実行されると、キーボードからの入力を待つ。それまでプログラムは次の命令を実行するのを待つ。
- ・キーボードからの入力はリターンキーを押すまでは、プログラムに伝わらない。
- · 入力された文字は、入力ストリームに保存される. リターン(改行)も保存される.
- · getchar()は、入力ストリーム中の一つの文字を読み込む、
- 連続してgetchar()を呼び出すと、最初に呼び出した getchar()だけが、キーボード入力待ちを行い、次に呼び 出したgetchar()は、入力ストリームから文字を読み込み に行く、この動作は入力ストリームが空(EOF)になるまで 行われる、入力ストリームが空(EOF)になれば、再度キー ボード入力待ちを行う。

文字列の初期化

- ・配列を直接、文字列で初期化できる
 - char s[] = "ABC"; char s[] = { 'A', 'B', 'C', '¥0' }; と同じ 要素数は3ではなく4になることに注意
- 要素数を省略することが出来る

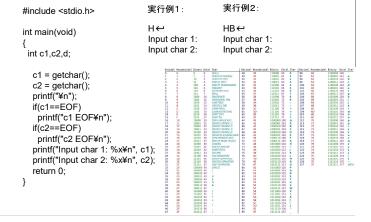
制御文字

- 改行記号 '¥n'
 - '¥n' (=10) は画面に出力されると改行する
- 終端文字(ターミネータ) '¥0'
 - 文字列の終端を表す
- その他多くの制御文字がある
- 制御文字は単一の文字としても、 文字列中でも利用できる
 - '¥n'
 - "ABC¥n"

getchar()

- キーボードから一文字だけ読み込む関数
- 呼び出すごとに次の文字を返してくれる
- 終了時は EOF (End Of File, -1)を返す
 getchar () は int 型を返す.
- EOF はファイル(ストリーム)の終端で発生する
 - キーボード入力時は ctrl を押しながら D を押す

getchar()プログラム例



CRŁLF

• パソコンによって、改行のコードは違う

- Windows : CR LF (0d 0a)

- Unix : LF 0a - Mac : CR 0d • CRとLFとは?

- CR: Carriage Return (行頭に戻る)

- LF: Line Feed (行を送る)

元はラインプリンタのヘッドの制御から来ている ラインプリンタでは、ヘッドを行頭に戻してから、行を送っていた

cast

・ 型を明示的に変換する

- (double), (int) のように型名を括弧で囲む int a; double b; char c; /* 変数の宣言*/ b = (double) a; /* 実数型に変換*/ a = (int) b; /* 整数型に変換*/ c = (char) a; /* 文字型に変換*/

(キャスト:鋳造する,型にはめるの意味)

注: 実際には、キャスト演算子はなくても、自動で型変換してくれるが、 ある方が、プログラムのミスを防ぐことができる

文字列操作関数

- 文字列を取り扱う関数が用意されている
 - str··・という名称の関数群
 - strcat: 2つの文字列を接続する
 - strcmp: 文字列を比較する
 - 同じなら 0, 違う場合は辞書順に -1 または 1
 - strcpy: 文字列をコピーする - strlen: 文字列の長さを返す
- 文字列長に制限のあるバージョンもある
 - strncmp, strncat など